



一般財団法人 日欧産業協力センター レポート EU 水素政策 EU Policy Insights

Vol.33 2025 年 9 月

「合成燃料(e-fuel)に関する EU の取り組み」

- 本資料は、当センターの公式見解を示すものではありません。
- 本レポートの内容は別途記載がない限り執筆時点で入手している情報に基づくものであり、その後の状況変化や追加政策発表により変わる場合があります。
- 本レポートへのご意見、取り上げて欲しいトピック等、お寄せください。

eujp-info@eu-japan.or.jp

一般財団法人 日欧産業協力センター

〒108-0072 東京都港区白金 1-27-6 白金高輪ステーションビル 4 階

TEL: 03-6408-0281 FAX: 03-6408-0283

E-MAIL : eujp-info@eu-japan.or.jp

「合成燃料(e-fuel)に関する EU の取り組み」

1. 概要

再生可能エネルギー由来の電力で製造した水素と CO₂ から製造した合成燃料である e-fuel は、多様な化石燃料を代替することができ、既存のインフラも活用できるため現実的な温暖化ガス排出策として期待されている。特に航空分野などでは他に有効な代替策が乏しいため期待が高まっている。国連機関での削減目標の引き上げを受け、EU においても積極的な導入拡大策がとられている。普及のためには、製造コストを下げる必要がある。原料となる水素も CO₂ も未だコストが高いため、まずはこれが下がる必要がある。加えて、CO₂ の安定供給も課題が残る。大気中から回収する DAC を行う必要があり、この技術は未だ開発段階である。一方で、e-fuel の製造プロジェクトは実証段階から商業段階に移りつつあり、今後の拡大が期待される。